

科目名	スタッフワークショップ4							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	演劇スタッフ科 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	山本浩二・増田有示・宮下明日香・山田岳史		教員の実務経験	有	実務経験の職種		美術・大道具・制作・音響		
【科目の目的】									
<p>学生が、より業界での仕事を念頭においた実習内容となり自身の意識も進路に向けたものとしスタッフワークを身に付ける。実習にのぞむ姿勢も、社会にでて協働するということを念頭におきルールやマナーもスタッフワークの一環であるという認識をもつ。実習課題は記録し、それが就職活動において資料や自己PRになるので、完成度や精度を意識したものを制作していく。企業研究も並行し目指す分野や企業のニーズに沿ったものの実習内容とする</p>									
【科目の概要】									
<p>業界へと進み、身に着けておかなければいけないスタッフワークを実習する。1年次に学んだことが落とし込まれているかの確認をしながら、よりブラッシュアップされた内容を学ぶ。</p>									
【到達目標】									
<p>前期での実習成果が学生の就職活動において大きな比重を占めるので、積極的に行い、高い意識をもつ。実習課題や製作物、レポートといったものは、各学生が記録し保管する。そうすることにより慌てることのない就職活動にもつながり、継続することを目標とし各々のスタッフワークの修練度を確認する。実習日を利用してインターンシップ活動も行えるので、社会に出て、仕込みからリハーサル、本番公演を行うことにより実践力を身に付ける。卒業公演に向け十分な技術や知識を身に着ける。</p>									
【授業の注意点】									
<p>前期で行う実習成果が就職活動やインターンシップに大きく影響してくることを意識する。希望する企業を明確にし実習を通して傾向と対策を立てられるとよい。作業しやすい服装・実習ジャンパー着用。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3			レベル2			レベル1		
	優れている			ふつう			要努力		
到達目標 A	自分の方向性と照らして、自身の特性を正しく理解し、適合させている			自分の方向性と照らして、自身の特性をある程度理解している			何がしたいのかはっきりしない		
到達目標 B	質の高い履歴書を完成させている			履歴書をある程度書けている			履歴書が書けていない		
到達目標 C	どんな方向からの質問であっても「相手が何を求めているか」を理解して適応できる			どんな質問でも素直に答えることができる			自分の言い方でしか対応できない		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									

必要時に応じて資料を配布する。また練習問題等も配布する。

【参考資料】

必要時に応じて資料を配布する。また練習問題等も配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

出席率。各セクションにて実習した内容を落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スタッフワークショップ4			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	中間発表プランニング					
2	中間発表仕込み準備					
3	中間発表仕込み					
4	中間発表稽古					
5	中間発表本番					
6	中間発表全体合評会					
7	中間発表コース別合評会					
8	卒業公演台本解釈					
9	卒業公演打ち合わせ					
10	卒業公演準備スケジュール管理					
11	卒業公演準備					
12	卒業公演稽古					

13	卒業公演直し作業					
14	卒業公演最終確認					
15	卒業公演本番					
備考 等						